



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.7)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「株伊藤園」さんです。

福島工場は平成8年より操業を開始しました。同工場では、麦茶ティーバッグ製品を製造し、東北6県のほか、新潟県、栃木県、群馬県に供給されています。

これからの暑い季節、夏のお供と言えば、そう麦茶！「甘くて香ばしくすっきりとした味わいで、カフェインゼロのため、お子さまからお年寄りまで幅広い世代の方に飲んでいただけます。麦茶ラテとしてお飲みいただくこともできますよ！」と、おすすめの飲み方も教えていただきました。



福島の暑い夏を乗り切る強い味方

株式会社伊藤園
福島工場

【会社概要】

所在地：福島市荒井北

(本社：東京都渋谷区)

代表者：本庄大介

設立：昭和41年8月

資本金：199億1,230万円

社員数：5,409人

主要製品：飲料・茶葉製品

連絡先：☎594-2313(福島工場)

■問／企業立地課 ☎525-3723

クローズアップ

「お〜いお茶」で社会貢献!!



▲寄付金贈呈式(平成31年4月)

「お茶で福島を美しく。」
キャンペーンについて
教えて

平成22年から「お茶で日本を美しく。」キャンペーンがスタートし、福島県では今年が4回目となります。

対象期間中の「お〜いお茶」の売り上げの一部を、福島県が取り組んでいる県内の森林保全・育樹活動に寄付する活動です。

「お〜いお茶」を飲むことで福島県や全国の地域活動に貢献できるんですね!



We Love♥ふくしま!

第27回「エールを送り合おう!」

我慢続きの生活で一番の楽しみは、朝ドラ「エール」を見ること。

朝ドラになかったコメディあり、涙が止まらない感動の場面あり、古関メロディなど音楽があふれ、見終わると励まされたような気持ちになります。

特に印象に残っているのは、音が学会会で朧月夜を歌った場面、裕一が音楽との別れを決意し指揮を執る場面、音の母が裕一の父の口にまんじゅうを突っ込む場面、豊橋のコンサートで裕一が音を支える場面。願わくは、福島市歌の作曲家山田耕祐がモデルの役を演じる故志村けんさんが「だいじょうぶだぁ」と励ます場面もあったら最高ですね。あなたはどの場面に惹かれましたか?

福島ネタを見つけるのも楽しい。水林自然林だ、旧広瀬座だ、信夫山だ、とロケ地を推測。いかにんじんや納豆、地元

の和菓子など福島らしいものをチェック。「こんなになまってっかな」と思いながら、「ふぐすま弁」を聞くのも面白いですね。

本来なら、「エール」放送を機に、あふれんばかりの人が「古関裕而のまち・福島市」を訪れ、エールバスに乗ったり、古関裕而記念館や古関裕而ストリートを回遊する姿が見られたはずでした。しかし、街は閑散、県外からの旅行自粛を呼びかけざるを得ない。悔しい限りです。

市では、福島エール3きょうだい(エールごはん、エール便、エールひろば)を立ち上げ、苦境に直面している事業者をみんなで応援しようという取り組みを進めています。いま日本中で同趣旨の取り組みが「エール」という言葉を使って行われています。それだけ、新型コロナ禍の世情に響く言葉であり、朝ドラ「エール」が激励とインパクトを与えているのでしょう。

朝ドラ「エール」の効果はきっと来る! そう信じて、いまは、古関メロディーに親しみ、身近な人との間でちょっとした声掛けや行動でエールを送り、励まし合っていきましょう。

福島市長 木幡 浩